

令和6年度 宮城県地方音楽会
ございんホール開館20周年記念



指揮者 佐々木 新平

仙台フィルハーモニー管弦楽団 コンサート



2024
7/7日

開場 / 13:30

開演 / 14:00

蔵王町ふるさと文化会館 (ございんホール)
多目的ホール

入場券 全席指定 500円 中学生以下 無料

■販売開始日 6月7日(金) 10:00~

※電話受付は 13:00~開始

■販売場所 蔵王町ふるさと文化会館 (ございんホール)

主催 / 宮城県教育委員会・蔵王町・蔵王町教育委員会

お問合せ 蔵王町ふるさと文化会館 (ございんホール)

〒989-0821 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦5番地

TEL 0224-33-2018 FAX 0224-33-2019

e-mail: shougaigakushu@town.zao.miyagi.jp

J. シュトラウス II

- トリッチ・トラッチ・ポルカ
- アンネン・ポルカ
- ワルツ「美しく青きドナウ」

ドヴォルザーク

- 交響曲第9番 ホ短調「新世界より」

※曲目は変更となる場合があります。



車をご利用の場合

東北自動車道 村田ICより15分

白石ICより15分

バスをご利用の場合 蔵王町役場前下車

JR白石駅より ミヤコーバスで25分

仙台よりミヤコーバス(高速)で60分

指揮者 **佐々木 新平** *Shimpei Sasaki*

Conductor

秋田県出身。東京学芸大学を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。その後ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J.パヌラら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。数々のコンクールにて優秀な成績を収め、2015年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいては本選最終の8人に選出された。これまで仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめ国内主要楽団に客演。2015-19年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイト・コンダクター。2021年よりヤマハ吹奏楽団常任指揮者を務める。現在オーケストラを中心に吹奏楽、合唱、オペラ、バレエ等あらゆるシーンで才能を発揮し、多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに遥かなる高みに向かう若き指揮者。

<https://shimpeisasaki.b-sheet.jp>

仙台フィルハーモニー管弦楽団

Sendai Philharmonic Orchestra

仙台フィルは、1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ、飯守泰次郎常任指揮者らのもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2023年度に高関健が常任指揮者に就任、創立50周年を迎えさらに充実した活動を展開している。

2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届ける活動を行った。現在、日立システムズホール仙台コンサートホールでの定期演奏会のほか、「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。



コンサートをみんなで楽しく聞きましょう!

- ホール内での飲食はご遠慮ください。飲食(飴やガムを含む)は、ロビーでお願いします。
- 本公演における撮影、録音等は固くお断りしております。
- 携帯電話をお持ちの方は、電源を切るか、マナーモードに設定しましょう。
- アラーム機能のついた時計等は電源が「オフ」になっているか確認しましょう。
- 補聴器をご使用の方は、装着が不完全な場合、高い機械音(ハウリング音)を発する場合があります。ご自身の耳にしっかり装着されているかご確認の上、音楽をお楽しみください。
- 拍手のタイミングが分からない場合は、焦らずに周りの方の流れに合わせてみましょう。演奏の余韻をじっくりとお楽しみいただいた後、惜しみない拍手と称賛の声を送りましょう。

バリアフリーコンサート みんなのクラシックコンサート(みんクラ)

令和6年9月14日(土) 蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール) 多目的ホール

出演 バイオリン:神谷 未穂 (仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター)

ピアノ:中川 賢一 (仙台市出身ピアニスト)



中川 賢一

© Shuhei NEZU



神谷 未穂

© Fotofolly

※詳細は、近くなりましたら、お知らせいたします。